

# 石川県七尾美術館だより

平成28年4月1日発行  
編集・発行 (公財)七尾美術財団

## 第85号(春号)



ISHIKAWA  
NANAO  
ART MUSEUM



平成28年度春季特別展  
**長谷川等伯展**  
～等伯と一門の精鋭たち～

「鳥巢図屏風」  
長谷川等伯筆 慶長12年(1607)  
大阪市立美術館蔵

# 展覧会紹介

平成28年4月23日(土)～6月26日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

平成28年度春季特別展

「長谷川等伯展

～等伯と二門の精鋭たち～

4月23日(土)～5月29日(日)

【会期中無休】

◇第1・第2・第3展室

今年の「長谷川等伯展」

昨年は当館にとつて「開館20周年」という記念すべき年でした。そこで「長谷川等伯展」では、国宝「楓図壁貼付」（京都市・智積院蔵）を特別公開。さすがに「等伯金碧画の最高傑作」として著名で人気は高く、加えて近年の「等伯ブーム」や北陸新幹線金沢開業、能越自動車道全線開通なども追い風となり、展覧会期間中はたくさんのお客様で大いに賑わいました。

さて、同展は「『楓図』を中心に等伯の若年期から60歳頃までの作品の紹介」がテーマでした。つまり、「等伯最晩年の時期」が含まれていなかったのです。従ってシリーズ21回目の開催となる今回は、昨年が続いてという形で「等伯60歳以降」と「長谷川派」に焦点をあてます。

桃山時代、「狩野派」を筆頭とする各画派の絵師たちはそれぞれ多くの弟子を擁し、集団で制作活動を行っていました。等伯も「長谷川派」を形成し、一門を率いて大規模な寺院障壁画制作などに従事しています。

そこで本展では、等伯晩年期制作の水墨画および、能登や京都で等伯をささえた「長谷川派」一門の絵師たちによる彩色画や水墨画・金碧画など、あわせて27点を展示します。



「山杉図屏風」(右隻) 長谷川派 京都市・禅林寺蔵

等伯を中心にキラ星のごとく逸材を輩出し、桃山画壇に一時代を築き上げた絵師集団「長谷川派」。その多彩な顔ぶれと、彼らにより生み出された名品の数々を、ぜひとも一門発祥の地・七尾でご鑑賞ください。

なお、今回の展示は次の3テーマ構成となります。ここからは、各テーマの内容をみていきましょう(文中記載の作品は本展出品作)。

## テーマ1 《孤高・晩年の等伯》

慶長4年(1599)、61歳を迎えた等伯は「雪舟より五代」を称し、自らを雪舟の画系に連なる者であることを宣言しました。そこには雪舟への敬慕という想いと同時に、「雪舟ブランド」を利用して「長谷川派」の勢力拡大を図るという、巧みな戦略もあったものと思われまます。一門を統率する「総帥」としての、強い決意を感じさせる事例といえるでしょう。

そのことに関連してか、等伯の60歳以降の画風に大きな変化が生じます。それまで柔らかく湿潤な表現だったものが、激しい筆使いによる硬質な表現に転じてゆくののです。そのことは、51歳時制作の「山水図襖」(京都市・圓徳院蔵)と、60歳代制作とされる「水辺童子図襖」(京都市・両足院蔵)や「黄初平図」(大阪市・久本寺蔵)を比

較しても一目瞭然です。

この画風変化については、中国明時代の画派「浙派」を学んだとする説があります。60歳を超えてなお、新しい画風にチャレンジする。彼のあくなき探究心には、感嘆せざるをえません。

等伯は晩年、水墨画を好んで描いたといわれます。精神性を表すのに、より適した水墨画の方が、自分に合っていたのでしょうか。「烏梟図屏風」(大阪市立美術館蔵)に描かれたフクロウのような、超然とした心境だったのかもしれない。

本テーマでは、等伯晩年期制作の水墨画を中心に、昨年初公開した「松竹図屏風」「猿猴図屏風」(共に当館蔵)も加えて紹介します。



大阪市指定有形文化財  
「黄初平図」(部分)  
長谷川等伯  
大阪市・久本寺蔵

## テーマ2 《故郷・能登の長谷川一門》

中世から近世初期にかけて、能登国は畠山氏の統治下にありました。そして七代当主義総の頃に全盛期を迎え、「能登畠山文化」が開花します。その豊かな文化的土壌で育まれたのが、等伯養祖父ともいわれる無分(生没年不詳)や養父の宗清(1507～71)など、のちに「長谷川派」と総称される等伯の先達たちでした。



中能登町指定有形文化財  
「日蓮聖人像」  
長谷川等伯  
中能登町・本土寺蔵



重要美術品・石川県指定有形文化財  
「祇園会図」伝長谷川久蔵 石川県立美術館蔵

彼らについては、近年の調査により優れた絵仏師であったことが徐々にわかってきました。例えば宗清筆の「日蓮聖人像」(輪島市・成隆寺蔵)と、等伯若年期制作の「日乗上人像」(羽咋市・妙成寺蔵)はともによく似ており、若き等伯の絵師としての成長に大きな影響を与えたともいわれます。このことからして

も、どうやら等伯は彼らに学ぶことによって、その絵師人生をスタートさせたようです。

そして等伯の京都移住後、入れ替わりに能登に登場するのが長谷川等誉(？～1636)です。彼は七尾の長谷川家を継承、やはり絵仏師として活動したといわれ、「日蓮聖人像」(中能登町・本玉寺蔵)や「十六羅漢図」(個人蔵)など、主に仏画を描いています。さらに詳細は不明ながら、能登には他にも長谷川一門の絵師がいたようで、よく似た画風の仏画を遺しています。

本テーマでは、能登の「長谷川派」絵師たちに着目。宗清と等誉、そして等伯の能登時代・若年期制作の仏画を中心に、能登生まれの等伯長男・久蔵(1568～93)の伝承作品「祇園会図」(石川県立美術館蔵)などを加えて紹介します。



「達磨図」長谷川左近 個人蔵

### テーマ3 《継承―等伯を継ぐもの》

慶長15年(1610)、桃山画壇の風雲児・等伯は没しました。彼が一代で大成させた「長谷川派」の行く末は、残された一門の絵師たちの双肩にゆだねられることとなったのです。

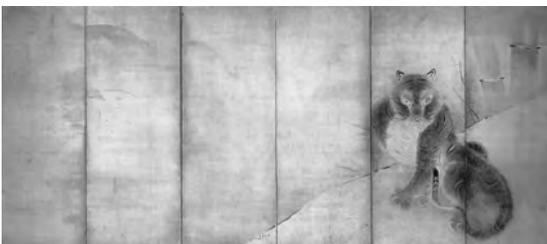
等伯没時、「長谷川派」には多くの絵師たちが存在していたといわれます。その中心となったのは、3人の息子と2人の娘婿でした。

「秋草図屏風」(京都市・南禅寺蔵)にもみられる、等伯の装飾性と柔らかなさを継承した二男・宗宅(？～1611)。「龍虎図屏風」(京都市・相国寺蔵)のように穏やかな画風で、絵屋に活路を見出した三男・宗也(1590～1667)。等伯風の表現から、俵屋宗達風の「達磨図」(個人蔵)まで、多彩な展開をみせた四男・左近(1593～?)。また詳細は不明ながら、かなりの作品を制作したとされる娘婿の等秀(？～1613)と等学(？～1623)。

桃山から江戸へ世が移りゆく中、彼らはその時代とともに画風を変化させつつも、等伯の遺志を受け継いで活動したようです。



「秋草図屏風」長谷川宗宅 京都市・南禅寺蔵



「龍虎図屏風」(右隻)長谷川宗也 京都市・相国寺蔵

一方、弟子たちについても、桃山～江戸時代前期頃を中心に多くの名前をみることが出来ます。史料が少なくはつきりとはしないものの、そこからは「長谷川派」が等伯没後もしばらくは活況を呈していたことが窺えるのです。

本テーマでは、等伯没後の「長谷川派」をささえた絵師の作品を、息子たちを中心に一部等伯若年期制作の作品を加えて紹介します。

### 《関連事業》

- ① 友の会会員限定 ナイト★ギャラリートーク  
日時…4月23日(土) 午後6時～午後7時(予定)  
会場…20名(先着)  
講師…当館学芸員  
参加費…展覧会観覧料(700円)

※4月9日(土)午前9時より電話申込受付開始。  
七尾美術館 ☎0767(53) 1500

### ② 特別講演会(聴講無料)

日時…4月29日(金・祝) 午後2時～  
会場…当館アートホール

講師…北春千代氏(石川県立歴史博物館学芸員)  
演題…「長谷川一門」無分から等伯、そして等誉まで

※記念講演会ご聴講の方全員に、等伯関連絵ハガキ1枚をプレゼントします。

### ③ 等伯子どもなんでもクイズ(参加無料)

対象…小中学生  
日時…「長谷川等伯展」会期中開館時間内随時  
会場…当館展示室

※毎年恒例の子どもクイズ。全問正解された方の中から抽選で、等伯グッズをプレゼントします。

### ◇観覧料

	個人	団体
一般	800円	700円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

## 池田コレクション展示室

「池田コレクション」は、七尾市出身の実業家・池田文夫氏蒐集の当館中核所蔵品です。当館では現在、特別展開催時でも常に「池田コレクション」をご鑑賞いただけるよう、会場の一角を「池田コレクション展示室」として、約10点前後の作品を展示しています。



展示されるのは、主にやきものや漆などの工芸品。そのラインナップは、美濃焼や九谷焼・根来など実に様々です。なお、4月23日からの春季特別展「長谷川等伯展」開催時にも、コレクションから選りすぐりの作品を展示します。ぜひとも、等伯展とあわせてご鑑賞ください。

## 当館所蔵品貸出情報（4月1日現在）

◆石川県立歴史博物館（金沢市出羽町3-1）

☎076-262-3236

### 展覧会名

「加賀・能登王墓の世界」

会期 4月16日（土）～5月22日（日）

### 出品資料

① 「国分尼塚1号・2号墳出土資料」より

1号墳35点・2号墳21点

② 「須曾蝦夷穴古墳出土資料」より

「柄孔鉄斧」1点

※全て七尾市教育委員会蔵

●現在、約3,000基もの古墳が存在する石川県。その副葬品などとおして、個性豊かな古墳文化が花開いた加賀・能登の国の始まりを紹介する展覧会です。

## 「第72回現代美術展 七尾展」

6月3日（金）～26日（日）

### ◆第1・第2・第3展示室

「現代美術展」は、主に県内の作家や美術愛好家たちが出品する公募展で、今回で72回目を迎えます。

石川県では終戦直後に地元作家が中心となり、昭和20年10月11日に石川県美術文化協会を設立、「美術文化の向上による新日本建設への寄与」をスローガンに、翌12日に開館した石川県美術館を会場として「第1回現代美術展」が開催されました。現在は日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で構成されており、その規模は公募展として県下最大を誇ります。また所属会派を超えて作品が出品されることから、石川県における美術の現在を知る絶好の機会となっています。

その歴史や規模だけでなく、昨年は県内在住及び出身である、人間国宝8名、日本芸術院会員3名の作品が出品されたことから、その内容の充実度が測れます。また、10月には漆芸家で芸術院会員の三谷吾一氏（輪島市）が文化功労者に選ばれるという石川の工芸界にとって喜ばしいニュースもありました。

今年4月2日（土）から19日（火）まで、石川県立美術館（洋画・工芸・写真）と金沢21世紀美術館（日本画・彫刻・書）の2会場で開催されます。展示作品は委嘱出品と一般公募から構成されており、委嘱出品の部では、出品委嘱作家（石川県美術文化協会会員）の作品が展示されます。一方、一般出品の部は、入選率5割という厳しい審査を経て選ばれた作品を展示するもので、展示の総点数は千点にもおよびます。

金沢展の後、県内の4会場を巡回しますが、巡回展は開催地ごとに地域の文化や産業をも反映し

た地域色豊かな展示内容となります。

当館では平成7年の開館以来、毎年6月に「現代美術展 七尾展」を開催しており、今年で22回目を数えます。「第72回現代美術展」出品作品の中から、石川県美術文化協会役員の作品、能登地区在住および出身委嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品（能登地区各市長賞と能登地区ゆかりの作家のみ）、能登地区在住者の作品を選抜し、250点弱の作品を紹介します。日本を代表する大家から身近な作家の作品までをお楽しみください。

会期中、第3展示室の1室では「池田コレクション」を展示します。観覧料は「現代美術展」と共通料金です。

※ここでの能登地区とは宝達志水町以北をさします。

### ◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	400円	
	3500円	3000円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。



昨年の展示室の様子

## 貸館催し物案内

アートホール

### 中能登奏友会 Euphonium&Tuba アンサンブルコンサート in2016 春

無料 入場

5月1日(日) 開演 午後2時

当演奏会は、金管低音楽器のユーフォニアムとテューバを使用した、温かいサウンドが特徴のアンサンブルコンサートです。当日は2組のゲストもお迎えし、楽しくお送り致します。入場無料です。是非、お越し下さい!!

主催 中能登奏友会

連絡先 荒川 ☎090(3768)5608

### エレクトーンフェスティバル ミヤコ音楽堂大会 & ジュニアオリジナルミニコンサート2016

無料 入場

6月12日(日) 開演 午後2時

ヤマハのエレクトーンフェスティバル北陸大会の代表を決める予選大会です。また、昨年に引き続き、生徒自身で作曲した曲を演奏するコンサートも一緒に開催します。是非楽しんでお聴き頂けたらと思います。

主催 ミヤコ音楽堂

連絡先 平野 ☎0767(53)0001

### ファミリーコンサート

無料 入場

6月19日(日) 開演 午後1時

大正琴、三味線の合同コンサートです。それぞれの持ち味をいかして演奏をしたいと思っております。ご来場をお待ちしております。

主催 なな華・洋三会

連絡先 細川 ☎0767(84)1785

## 周辺施設のほっとニュース

### 「花嫁のれん館」が開館

～ 多彩な観光周遊コースに期待 ～

花嫁のれん館は、平成16年に一本杉通りで街おこしの一環で始められた花嫁のれん展が発端となり、この度一本杉通りに面した旧図書館跡に建設されました。

婚礼時に花嫁が特別なのれんをくぐるという婚礼文化が、幕末から明治にかけて能登・加賀・越中で行われ、現在も伝えられています。一本杉通りの方々がこの花嫁のれんを商家・民家で150枚以上飾るイベントに取組み、県内はもとより全国にも知られるイベントに成長しました。

この施設は、貴重な花嫁のれんが見られる常設展と能登の婚礼文化を伝える企画展を行うと共に、白無垢を着て、花嫁のれんをくぐる体験ができるコーナーもあり、多くのお客様に見て・体験していただける施設となっています。

観光のお客様が、登録有形文化財である明治時代に建てられた醤油店やろうそく店などの各商店を回って花嫁のれん館に入り、加賀藩前田利家出世城の小丸山城址公園、石川県七尾美術館、そして、山の寺院群を



花嫁のれん館完成図

巡るコースの提案もできるなど、花嫁のれん館は、市内の多彩な周遊コース情報発信の核となる施設としても、大いに期待されています。

入館料…高校生以上 550円  
小中学生 250円

花嫁のれんくぐり体験 3,000円(要予約)

問 花嫁のれん館 ☎0767(53)8743

### ■能登島ガラス美術館の展覧会情報

～ ガラスアートの最新トレンドに注目 ～

「日本のガラス展」は、日本ガラス工芸協会に所属する作家の新作が出品される、日本のガラスアートの動向を伝える大規模なガラス展として知られています。1978年から3年に1度の間隔で開催され、今回で13回目の開催となる本展では、16年ぶりに一般公募が行われ34点の作品が入選しました。北信越で唯一の巡回先となる当館では、入選作品34点をあわせた116点の最新作を前期と後期に分けて紹介します。

展覧会名…日本のガラス展

～ 挑戦する現代ガラス ～

会 期…前期4月9日(土) ～ 5月23日(月)

後期5月28日(土) ～ 7月10日(日)

開館時間…午前9時～午後5時

入館は午後4時30分まで

休館日…第3火曜日、5月24日(火)～27日(金)

観覧料…高校生以上 800円

友の会会員 700円

問 石川県能登島ガラス美術館

☎0767(84)1175

# 平成28年度 友の会 行事カレンダー

～みなさまのご参加をお待ちしております～

- 2016 **4月**
- 4月 1日 (金) ◆「美術館だより85号 (春号)」発行
  - 4月22日 (金) ◆「長谷川等伯展」開会式ご招待  
式典終了後には展覧会の鑑賞もできます。観覧無料。
  - 4月23日 (土) ◆「ナイト★ギャラリートーク」  
当館学芸員による解説を聞きながら、「長谷川等伯展」をお楽しみください。  
要観覧料。  
詳しくは本だより3ページをご覧ください。



平成28年度 石川県七尾美術館  
友の会会員証

- 7月** 7月 1日 (金) ◆「美術館だより86号 (夏号)」発行

- 8月** 8月 5日 (金) ◆「ニャンダフル! 浮世絵ねこの世界展」開会式ご招待  
式典終了後には展覧会の鑑賞もできます。観覧無料。

- 9月** 9月11日 (日) (1日目)、9月25日 (日) (2日目)

- ◆美術講座「木版画教室」  
七尾市中島町小牧在住の農民版画家・鈴木敏治氏を招き、1日目は鈴木氏から制作に対する想いや姿勢のお話しを聞き、小枝の切り口に名前などを彫っていただきます。2日目は参加者が自宅で作った下絵を版木に写し、彫り、摺り上げるまでを行います。

- 10月** 10月 1日 (土) ◆「美術館だより87号 (秋号)」発行

- 未 定 ◆「第17回友の会鑑賞の旅」開催

- 11月** 11月 3日 (木・祝) ◆「2016イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」開会式ご招待  
式典終了後には展覧会の鑑賞もできます。観覧無料。

- 2017 **1月** 1月 1日 (日) ◆「美術館だより88号 (冬号)」発行

※開催日程等は変更及び中止する場合がありますので、ご了承ください。



## ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、ティールームでゆっくりおしゃべりください。



## 「長谷川等伯展」限定メニュー

### 【とつはくロール】

ドリンク付き (700円)

等伯の水墨画をイメージして創作されたオリジナルロールケーキ「とつはくロール」。風味たっぷりの黒ごまクリームと奥能登産の黒豆を使用したきな粉クリームが、ふんわりしたスポンジは竹炭パウダーが入ってやさしいおいしさです。



### 【胡麻チーン】

(500円)

練りごまの香ばしい香りと、コーヒーのほろ苦さがくせになるお菓子です。  
是非、ご賞味ください。



《期間 4/23～5/29まで》

## ★友の会会員の皆様

会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10%割引になります。(10円未満切捨)

# 平成27年度新収蔵品紹介

平成27年度に新しく当美術館所蔵となった作品を紹介します。  
※池田コレクションのみ平成26年度収蔵(4/1現在)。

## 日本画

- ①「松竹図屏風」 長谷川等伯  
桃山時代(16世紀) 制作
  - ②「猿猴図屏風」 長谷川等伯  
桃山時代(16世紀) 制作
- ※①②は七尾市購入。



②「猿猴図屏風」長谷川等伯筆 ①「松竹図屏風」長谷川等伯筆

## 日本画

- ③「海」 稲元 実  
昭和55年(1980) 制作

- 第12回改組日展
  - ④「歩拾弑歳」 稲元 実  
昭和60年(1985) 制作  
第17回改組日展 特選
  - ⑤「鎮魂 グラン・ド・ジヨラス」 稲元 実  
平成13年(2001) 制作  
第33回改組日展
  - ⑥「宴」 稲元 実  
平成17年(2005) 制作  
第37回改組日展
- ※③⑤⑥は稲元美恵氏より寄附。



⑥「宴」稲元 実 ③「海」稲元 実

## 《池田コレクション》

## 日本画

- ⑦「三島本地絵巻」 土佐光起  
江戸時代(17世紀) 制作
- ⑧「美人居眠図」 礪田湖龍齋  
江戸時代(18世紀) 制作
- ⑨「秋山寛句図」 円山応挙  
寛政7年(1795) 制作

## 工芸

- ⑩「信楽水指 銘腹鼓」  
桃山時代(16〜17世紀) 制作
  - ⑪「絵唐津算盤玉形水指」  
桃山時代(17世紀) 制作
  - ⑫「青手波に菊図丸小皿 古九谷」(5巻)  
江戸時代(17世紀) 制作
  - ⑬「色絵山水図瓢形大德利 吉田屋窯」  
江戸時代(19世紀) 制作
  - ⑭「色絵山水人物図額鉢 小野窯」  
江戸〜明治時代(19世紀) 制作
  - ⑮「桑造木象嵌飾棚」 氷見晃堂  
昭和24年(1949) 制作
  - ⑯「象嵌飛燕置物」(1対) 高橋介州  
昭和時代(20世紀) 制作
- ※⑦⑮を含む83点は、池田輝三郎氏より寄附。



⑦「三島本地絵巻」(部分) 土佐光起



⑧「美人居眠図」(部分) 礪田湖龍齋



⑮「桑造木象嵌飾棚」氷見晃堂



⑭「色絵山水人物図額鉢 小野窯」



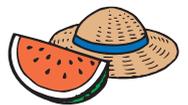
⑬「色絵山水図瓢形大德利 吉田屋窯」



⑩「信楽水指 銘腹鼓」



# これからの展覧会予定



平成28年8月5日(金)～9月25日(日) ※9/5,12,20休館

## ◆第1・2・3展示室

### 「～国芳、広重、国貞、豊国、英泉… 江戸・明治の浮世絵師たちが描く～ ニャンダフル！浮世絵ねこの世界展」

私たちにとって猫は、今や大切な家族であり癒しの存在ですが、著名な浮世絵師たちも、自由気ままに生きる猫たちに魅せられ、様々な猫を描きました。美人と戯れる「かわいい猫」、妖怪と化した「こわ～い猫」、飲んで踊る擬人化された「おもしろい猫」など、バラエティー豊かな猫の浮世絵版画約200点をご満喫ください。皆様のご来館を待ってるニャン♪

★ぬり絵など、楽しいイベントも開催！



「流行猫のおも入」歌川国芳



「思事鏡写絵(猫)」  
初代歌川国貞

平成28年7月2日(土)～31日(日)

## ◆第1・2展示室

### 『池田コレクション』百花繚乱！

平成27年にやきものを中心とした83点が新たに加わり、さらに充実度を深めた「池田コレクション」。各種工芸を中心に、近現代の日本画など古今の幅広いジャンルの作品によって構成されています。本展では、現在あわせて287点を数える「池田コレクション」より作品をセレクトし、幅広く展示。蒐集者・池田文夫氏によって創造された、多彩な世界を紹介します。



「太平記 大森彦七物語」(部分)  
(池田コレクション)

## ボランティアに参加してみよう

特に美術品に興味が無くても、いざ静寂の中、目の前の多数の美術品を監視していると、日常生活には無い、とても不思議な気分を味わいます。

来館者の方々の、美術品についての質問等には、学芸員さんに事細かく説明して頂き、その折に自分自身も知識を得ることが出来ます。答えは同じでも学芸員さんの個々の話し方のスタイルが違うので、聞いていて楽しいです。来館者の方々の質問は似た

## ボランティアスタッフ 小林 憲生

内容が多いので、簡単な質問には受け答えし、ご案内できます。来館者の方が、軽く会釈し「ありがとう」と言ってくださることもあり、素敵な空間だと思います。

### ボランティアさん募集♪

興味・関心のある方は、どうぞお気軽にお問合せください。

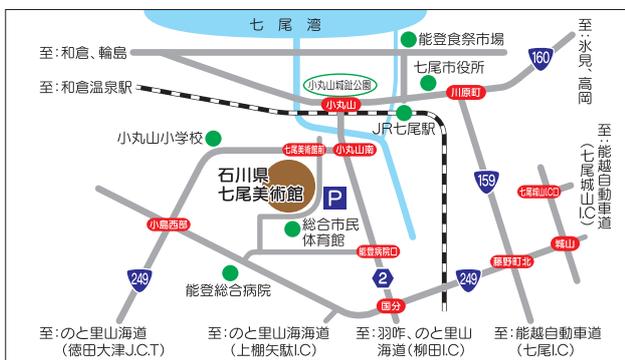


割引、プレゼントなど特典いろいろ！ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット



エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



飛行機……のと里山空港から「のと里山海道」利用約45分  
タクシー……JR七尾駅から約5分  
徒歩……JR七尾駅から約20分  
市内循環バス「まりん号」……JR七尾駅前「ミナ・クル」バス停から「七尾美術館」下車(順回り約8分・逆回り約14分、1日各8便)  
なおコミュニティバス「ぐるっと7」……JR七尾駅前5番乗り場から「小丸山台1丁目」下車(西コース約10分、1日4便)

◎次号・第86号(夏号)は7月1日発行予定です。

日	月	火	水	木	金	土	2016 <b>4</b> APRIL
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
日	月	火	水	木	金	土	2016 <b>5</b> MAY
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					
日	月	火	水	木	金	土	2016 <b>6</b> JUNE
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

◆4月～6月カレンダー◆  
◆開館時間◆ 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで) ※は休館日

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台一丁目1番地  
TEL(0767)53-1500/FAX(0767)53-6262  
http://nanao-art-museum.jp

石川県七尾美術館だより

第85号(春号)